

1. 担当・責任を負うのはどこの組織ですか？

外洋常任委員会・JC ワーキンググループ等ありますが、実態がみえません。

A. JAPAN CUP は JSAF 主催での開催となったので、最終責任はJSAF ですが現実的には外洋艇推進グループ(外洋常任委員会中心)で対応するものと考えます。ワーキンググループに関しては従前のJCをどのように改善するかの協議機関であり、大会運営に携わるものではなく責任は負わないということです。また、大会の運営は外洋常任委員会で概略を話し、各委員会で詳細を詰め(開催水域を含めた)実行委員会に委ね運営するのが基本と考えています。しかしながら海上運営、計測、安全確認等地元水域の協力を仰がねばならないことが多々ありますので、各水域の特殊性なども考慮する必要があります。

2. 前回反省会

反省会の議事録等レース委員会から提出いたしましたが、ワーキンググループが開かれることもなく、基準の検討されることもなく次の大会の開催が決定しています。

色々な意見が出ていましたが、無かった事になるのであれば、ジャパンカップ運営に協力していただける方が減るのは当たり前ではないでしょうか？

参考例

* 開催期間 決められた JC 開催基準は変更不可、また今回の案内にも 順守する記載がありますが、今回 転送されてきました開催協力依頼では開催期間が 7日となっています、基準では 5日と定めています。

* インショア 6レース 一日の最大レースを 3レースの場合 前回の様なケースもあります。

A. 反省会議事録を蔑ろにしているわけではありませんが、結果的にそのようなことになっていることに対しては申し訳ありません。

ご指摘の点についてですが、基準はワーキンググループが時間をかけて調整作成し、外洋常任委員会、外洋加盟団体長会議でも承認されているものなので、施行後短期間で変更することが憚られたことがあります。ただご指摘の矛盾や質問第5にある第2章との関連については調整することはやぶさかではありません。

よって、1月14日の会議は実行委員会準備会とし、課題を整理したい。最終的には1月18日の外洋常任委員会で調整し、1月24日の外洋団体長会議で討議決定したい。

3. 開催水域への 要望に関して。

ジャパンカップ開催の主催は JSAF ですが、開催水域がなにもしなくて良いわけではありません。開催水域の協力体制が見受けられない場合協力が受けられる水域に変更することも必要ではないでしょうか。

2017 年は関東にきまっているようですが。私の所属の三浦OSCでほとんどの理事はこの件知りませんでした。また JCワーキンググループから関東開催に関しての事前すり合わせ等あったとは聞いていません。

また、JSAF が準備する部分・開催水域が準備する部分をはっきりさせ開催することが重要であると思います。それにより、水域のレベルがあがり、よりよいレースが行えるようにすることが重要ではないでしょうか？

ジャパンカップを行うことが重要視され、開催水域に何を残すことが必要かも考える必要があるのではないのでしょうか？

プレイヤーのためだけの大会ならば今楽しんでいる人だけが楽しいだけで、未来につながらないと思います。

A. JAPAN CUP 開催の件については、これまでの外洋常任委員会、外洋加盟団体長会議で報告し、承認もされています。各加盟団体における関係者や会員が知らないということであればそれは加盟団体内部の責任ではないでしょうか。来る外洋常任委員会、外洋加盟団体長会議では JAPAN CUP 2016 についての状況報告に加え、2017 大会について特に関東 4 団体に説明及び申し入れをいたします。

受入れ状況による開催場所の変更問題やJSAF と開催水域団体の役割分担は今後の外洋常任委員会で協議し、外洋加盟団体長会議で審議したい。

4. JC 運営ガイドに関して

レース外洋小委員会より、ずいぶん前に提出されていますが、内容に関して返答がなにもありません。

JCワーキンググループの一員から“外洋小委員会が回っていない”等の指摘があったようですが、少ないメンバー、予算で良く回しています。せめて、各加盟団体レース委員(担当者)がこのサイト((現在 更新準備中です。資料等を
ルことは可能です) <http://www.asahi-net.or.jp/~gf8j-hsgw/index.html>

全部、目を通しレース開催、運営の参考にさせていただければ、外洋系もかなり前進すると思います。

運営ガイドの作成について余計な業務と思われるのであれば、レース外洋小委員会としては 今後の協力に関して 考え直す必要があります。

小委員会メンバーの時間を割き、作成した資料をないがしろにする主催者に何を協力しろというのでしょうか？

A. 返答が遅れてしまっていることについては申し訳ありません。これについては1月14日の会議で協議、回答したいと考えています。

運営ガイド等のマニュアルの作成については評価していますので、今後も外洋常任委員会や外洋加盟団体長会議への提案をお願いします。

5. 第2章の変更に関して

JSAF 主催に変更されたのであれば、第2章を現状のまま実施するのは問題があると思います。

JSAF レース運営規則も変更して(主催が JSAF に変更する時点で、運営規則の内容も 変更を検討すべきだと思います。)早急に 対応すべき問題と思いますが。

11/28-29 のJSAFレース委員会でも運営規則2章変更の話がありました。JSAF理事会で承認を得て変更になります。無視は良くないのでは？

現にレース委員会では、日本最高峰のレースとの位置づけであるレースが運営規則を守っていないという意見も出ています。

昨年のワーキンググループでも議論が出たかと思いますが、早急に対応が必要なのではないでしょうか？

A. 第2章に関する件、ご指摘の通りと考えます。JSAF理事会への提案を目標に外洋小委員会で検討の上、次回の外洋常任委員会への提案事項としていただければ幸いです。ただ詳細部分でこれまでのご指摘のように、第2章に記載するには協議不十分なところについては、早急に調整したいと考えます。

今月中に返信を頂きたいです。